



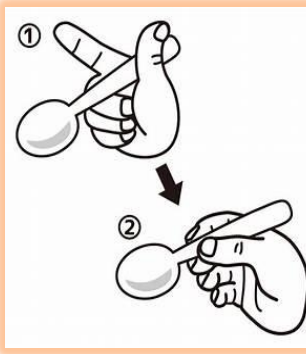
## スプーンを上手に使ってみよう!

令和2年10月30日

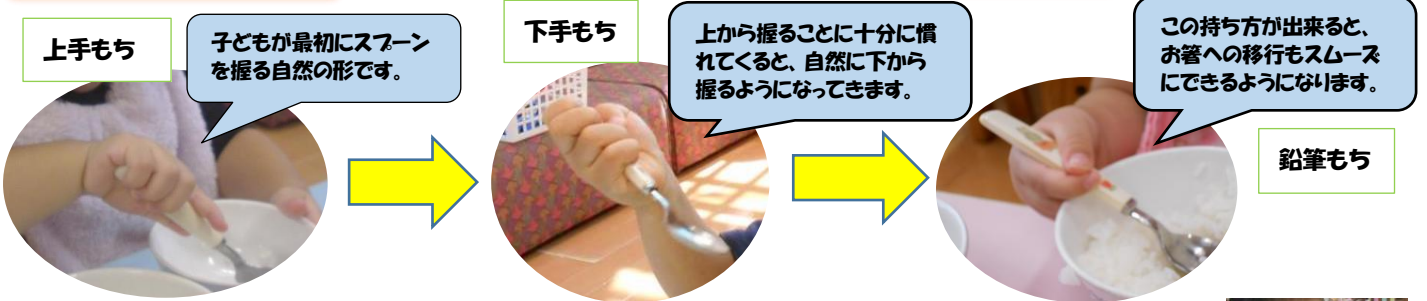
現在、子ども達はスプーンを使って給食を食べています。スプーンを正しく[鉛筆持ち]持てるようになれば、次は箸への移行がスムーズになります。しかし現状は上手持ち、下手持ちで持つ姿が多く見られます。そこで、箸に移行する前にスプーンを正しく持って食事が出来るように子どもたちに伝えていくことにしました。



- ★上手もち(1歳～1歳6か月ごろ)  
手のひらで握りこみます。
- ★下手もち(1歳6か月～2歳ごろ)  
下から握ります。手のひらを開かせ、上にスプーンを乗せます。
- ★鉛筆もち(2歳ごろ～)  
鉛筆の持ち方で持ちます。成長するとともに、正しい持ち方になります。



- ①鉄砲の形を作り、中指の上にスプーンを乗せる。子どもたちには分かりやすいように「バキューンの手」と教えています。
- ②親指と人差し指をそっと添える。



子どもが最初にスプーンを握る自然の形です。

上から握ることに十分に慣れてくると、自然に下から握るようになってきます。

この持ち方が出来ると、お箸への移行もスムーズにできるようになります。



園で実際に使っているスプーンです。給食の先生にも相談をし、子どもたちが握りやすいスプーンを提供してもらっています。持ち手の柄の部分分が分厚いため、手の形にフィットしやすく持ちやすいです。使いやすいスプーンは手先が安定して食べやすくなります。



しょうずにもてるかな？  
これであってるかな～  
持ち方をアピールしてきます!!



### ～鉛筆あそび・箸あそび～

あそびの中でも箸に触れ、少しでも箸に慣れていけるように園では「えんぴつあそび」や「箸あそび」を取り入れています。子どもたちは、とても興味を持って遊ぶ姿が見られます。まだまだ上手くは持ってませんが、あそびを通して少しずつ箸が持てるようになると思います。

つかむ物は硬い物よりも、毛糸や丸いポンポンの玉(100均にあります。)などが、初めはおすすめです。やわらかく滑りにくいので掴みやすいです。



制作(お絵描き)が大好きな子どもたち。クレヨンや色鉛筆を使って、お絵描きを楽しんでいます。鉛筆の持ち方にも気を付ける姿が見られます。

「いただきます」のご挨拶の前に必ずスプーンの持ち方についてお話をしています。子どもたちは保育教諭のお手本を見ながら、自分の持ち方を見て確認しています。最初は上手に持っても、いつの間にか上手もち、下手もちになってしまっている子もその都度声かけをしながら焦らずに繰り返し練習しています。正しく持てるようになれば、箸への移行もスムーズに行うことが出来るので、ご家庭でもお子様のスプーンの持ち方を見て、さりげなく教えてあげてくださいね。